



ロイドレジスタージャパン 株式会社
LLOYD'S REGISTER JAPAN K.K.



ロイドレジスタージャパン株式会社 (LRJ) は、幅広い分野のニーズにお応えするため専門性とネットワークを活かし、CSR・サステナビリティ、食品安全、自動車機能安全、企業実務支援業務を行っております。



【サステナビリティ】
ロイドレジスタージャパンは、豊富な実務経験、国際スタンダード等への深い理解、国内外のネットワークに基づき、貴社の状況やご要望に基づいた最適の形でのご支援を提供、貴社の企業価値向上に貢献いたします。



【お問い合わせ】
TEL 045 670 7443
FAX 045 670 7446
〒220-6010
横浜市西区みなとみらい2-3-1
クイーンズタワーA10F



【サステナビリティ】 サプライチェーン労働・人権監査（基礎）研修

日時：2019年4月25日（木）10:00-16:30

会場：シティラボ東京（住所：東京都中央区京橋3丁目1-1 東京スクエアガーデン6階
京橋環境ステーション内）<https://citylabtokyo.jp/access/>

サステナビリティ
研修

国連ビジネスと人権に関する指導原則、英国現代奴隷法など、サプライチェーンにおけるCSRは、今や避けることのできない課題となっています。

その手法として、持続可能な調達・CSR調達が脚光を浴び、多くの企業がサプライヤーに対して、何らかの調査、確認プロセスを導入すると同時に、逆に顧客企業から監査や自己診断の要求を受けることが一般的になっています。

RBA、Ecovadis、SEDEXなどのツールも徐々に広まり始めていますが、その対応において、現場での実務的な知見が不足していることが課題になり始めています。

今回、このサプライチェーン労働・人権監査（基礎）研修では、その課題に対処することを目指して、ロイドレジスタージャパン（株）と認定NPO法人ACEが共同で企画したものです。

この研修は、RBA、Ecovadis、SEDEXなど特定の手法に限定せず、サプライヤーや自社工場の現場における労働、人権面のリスクを見出すための基礎的な知識を習得することを目指しています。

目的 自社・サプライチェーンの労働・人権リスクを現場で把握するための手順、注意点など、基礎的な知識を身につける。

主な対象者

- ・ CSR担当者、調達担当者
- ・ サプライヤーの監査、視察をする方
- ・ 自社工場の内部監査、視察をする方

講師 白木 朋子 認定NPO法人ACE 事務局長

コメンテーター 富田 秀実 ロイドレジスタージャパン株式会社 取締役

定員 最大20名

受講料 40,000円＋消費税（1名様）

お申し込み ロイドレジスタージャパン のウェブサイトからご登録ください。
https://lloyds-register.co.jp/supplychain_labour_humanrights1

お支払い方法

※お申込日より7営業日以内を目安に下記口座にお振込みください。
銀行振り込み明細書をもって領収書の発行に代えさせていただきます。

振込み銀行：三菱UFJ銀行横浜支店
当座預金：3984334
口座名義：ロイドレジスタージャパン（株）

プログラム概要：

10:00～16:30（途中休憩含む。質問が多い場合、延長することがあります）

- ・ 導入：ビジネスにおける労働・人権に関する世界の動向
- ・ 労働、人権にかかるリスクの特定
- ・ サプライチェーンの現場でリスクの特定
- ・ 労働・人権リスクの分析・評価の判断
- ・ 現場の仕組みをどう作るか
- ・ QA、まとめ

講師略歴

白木 朋子

認定NPO法人ACE事務局長 / 共同創業者



1974年宮城県仙台市生まれ。宮城学院高等学校、明治学院大学国際学部卒業。英国ロンドン大学東洋アフリカ大学院国際教養ディプロマ課程（開発学、比較文化学専攻）、英国サセックス大学・文化環境開発研究所（CDE）開発人類学修士課程修了。代表の岩附とともに大学在籍中にACEを創業。開発援助コンサルティング会社での勤務を経て2005年4月より現職。ガーナ・カカオ生産地での事業立案、企業との連携、企業向けの研修コンサルティングなどを担当。消費者教育、エシカル消費の普及にも携わる。労働・人権分野の国際規格「SA8000」社会監査人コース修了。准認定ファンドレイザー。ASC認証審査等の社会監査経験多数。サプライチェーンの児童労働、CSR、ビジネスと人権、SDGs、サステナビリティに関する調査、講演、研修・ワークショップ・ダイアログ、執筆等多数。

